

JIS A 5549

F★★★★★



環境接着剤シリーズ

JAIA 4VOC基準適合

根太・束・フローリング 施工用接着剤 《床暖房下地への対応可能》 ネオストU-CT

ネオストU-CTは根太・束・フローリング施工などの屋内造作用に開発された一液湿気硬化形ウレタン樹脂系接着剤です。臭いが少なく初期硬化性に優れています。



ウレタン樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ

指定可燃物可燃性固体類

容量	包装形態	梱包単位
角形ノズルタイプ 1.2kg	ジャンボ カートリッジ	12 (ストレートタイプノズル3個付)
ストレートタイプノズル 1.2kg	ジャンボ カートリッジ	12

用 途

適用箇所	屋内の床面
適用下地	コンクリート、モルタル、合板
適用仕上げ材	木材、鋼製束、プラスチック製束

性 質

外 観	黄白色 ベースト状
主 成 分	ウレタン樹脂
張付け可能時間	50分以内/23℃

標準使用量

17~23m/1.2kg

※ストレートタイプノズルは、吐出口内径が約6mmφの場合

使用方法

【床根太の清掃】

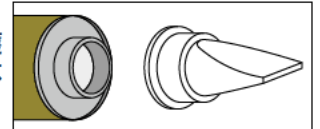
床根太及び被着体の泥・水・ゴミ・ホコリ・油分など接着不良の原因となるものを取り除きます。

【墨出し】

床根太面へ床下張りの位置に墨出しをします。

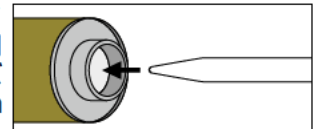
【接着剤の塗布及び張付け】

1.ノズルを外し内部の保護皮膜を先端の尖った棒などで破ります。

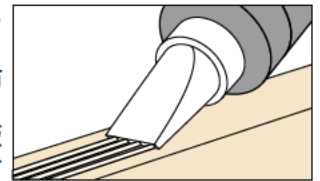


2.ノズルを装着します。

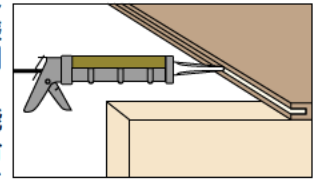
チェック：ストレートタイプノズルを使用する場合はノズル先端を直径6mmφ以上になるようにカットします。



3.接着剤を床根太面に塗布します。

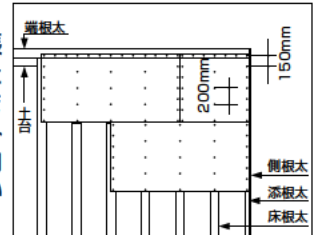


チェック：本ざね加工合板を用いる場合は、合板のサネ加工部にも同様な方法で接着剤を塗布します。

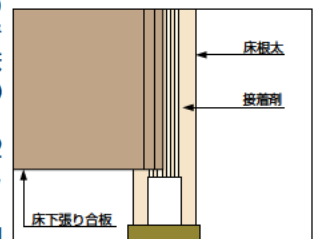


4.接着剤塗布後、張付け可能時間内に床下張りを墨に合わせて張り付け、釘で仮止めします。

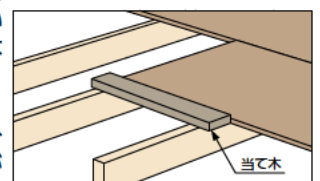
同様にして次の床材を張り終えた後、前に張った床材に釘打ちを行います。釘打ちは、床材の外周部を150mm間隔、内部を200mm間隔で行います。



チェック：合板の突き合わせ部分への接着剤の塗布は、床根太の上に1枚の合板に接着剤が1列となるように2列並べて塗布します。



5.床下張りの2列目は、1列目の継ぎと一致させないように千鳥張りとし、3本以上の根太に掛かるようにします。



チェック：本ざね加工部分は、サネ部分が破壊しないように当て木をし、ハンマーで叩きます。

ネオストU-CT

取り扱い上の注意事項

ネオストU-CTを使用する前に、下記の項目を守って下さい。

- 接着用途以外には、絶対に使用しないで下さい。
- 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。
- 取り扱い場所及び作業場所は、換気を行って下さい。
(施工中は窓を開け、施工後も日中は4～5日間、常に窓を開ける)
- 可燃性のある成分を含んでいます。使用時・取り扱い場所では、火気に注意して下さい。
- 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
- 使用時には必要に応じて保護メガネや保護手袋などの保護具を着用して下さい。
- 開封した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。(数日で硬化します)
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗いやウガイを行って下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は、当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート (SDS) 又はカタログをご参照下さい。
- ネオストU-CTをご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

■警告及び注意



- 掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。
- 本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621	技術開発センター FAX: 0584-89-8111 センター FAX: 0584-87-0010	

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業
◆株式会社イズカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.

1706Mac05